



「に」げずに
「し」んじて
「かん」しゃして
「き」ようりょくする

1月

～ 寒波襲来 ～

先日の1月20日は大寒（だいかん）でした。大寒は、日本の季節の目安となる二十四節気の一つで、冬の寒さがもっとも厳しくなる頃を指します。大寒の前の節気である「小寒（しょうかん）」と合わせて、「寒の内（かんのうち）」と呼ばれ、一年でもっとも寒い季節として寒中見舞いを出し合う風習があります。

その大寒に合わせて、この冬で一番の寒波がやってきました。この最強寒波について、気象庁が緊急発表を行い、これを受けて各マスメディアから大雪、低温への備えと注意喚起が報道されています。登校指導中の体温もこれまでとは全く違って、この1週間は、本当に寒いです。そんな寒い中でも、毎日の登下校の際、西神吉っ子の安全を見守ってくださっている交通指導員さんには、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。また、各町内会長、民生児童委員、少年補導員の皆様をはじめ、地域の皆様にもお世話になっています。いつも温かく西神吉っ子を見守っていただき、ありがとうございます。

皆様のおかげで、子どもたちは大きな事故もなく、元気に登校することができています。地域の皆様に支えられている幸せを改めて実感する毎日です。まだまだ寒い日が続きますが、皆様におかれましても、どうぞお体に気をつけてお過ごしください。そして、今後とも西神吉っ子をよろしくお願いします。

西神吉っ子の一コマ

塞さに負けずがんばっています！

ピッカリ！
ピッカリ！

